

東日本高速道路株式会社 北海道支社
支 社 長 堀 圭一

質問書に対する回答

(工事名) 道東自動車道 占冠地区下部工工事

質問事項と回答

番号	質問事項	回 答
1	入札公告（説明書）P.7 技術評価項目及び技術評価基準について 評価項目「非出水期における橋梁下部工のコンクリート品質確保に関する提 案」における、“橋梁下部工”には基礎杭（大口径深基礎杭）も含まれるで しょうか。	本工事において、貴社の考える橋梁下部工に関する提案をお願 いします。
2	特記仕様書P33, 34 シム川橋P1～P5 の鋼矢板打設が、油圧パイプローハマーWJ 併用と なっておりますが、設計図シム川橋P89/98 他によると最大N値は300 と記載さ れています。 他の箇所と同様に硬質地盤クリア工法が必要と考えられますが、どのようにお考 えでしょうか。	ご認識のとおり、シム川橋P1橋脚～P5橋脚の鋼矢板打設工法は 硬質地盤クリア工法が正となります。
3	割掛対象表 火薬庫費・火薬取扱費 表では構造物掘削の軟岩掘削が対象と思わ れますが、参考内訳書の期間が1.9 ヶ月と記載されており期間の整合性があ りません。 構造物掘削の軟岩・硬岩は発破による破碎と考えてよろしいでしょうか。	割掛け参考内訳書火薬庫費・火薬取扱い費は、2.7ヶ月が正となり ます。 なお、軟岩・硬岩の破碎工法は、発破を想定しております。
4	上記質問について、基礎杭(人力掘削)が火薬の対象となっておりません。 軟岩・硬岩の破碎工法はどのように考えたらよろしいでしょうか。	基礎杭 場所打ちコンクリート杭（人力掘削、Φ6,000）の軟 岩・硬岩の破碎工法は、発破を想定しております。

番号	質問事項	回答
5	<p>特記仕様書P32, 33 および閲覧資料の数量計算書 本流鷗川第一・第二橋および占冠PA 橋において、構造物掘削の土質に軟岩が計上されていません。設計図書の柱状図によるとN 値200 以上の軟岩の発生が考えられますが、どのように考えたらよろしいでしょうか。</p>	<p>特記仕様書26-2-2に示す土質区分は以下が正となります。 構造物掘削普通部A 土砂B、C又は軟岩A相当 構造物掘削特殊部B1、B2、C1、C2 土砂B又は軟岩A相当</p>